

# 事業所における自己評価結果

「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和3年3月31日

事業所名: 小平市立障害者福祉センター 職員数 20名 回収数19件 割合95%

|         |   | チェック項目                                                                                     | はい | いいえ | 主な意見                                                                 |
|---------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制設備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                  | 10 | 8   | ・園庭が狭い。<br>・個別対応が必要なとき別室の確保が必要である。<br>・活動内容によってスペースを工夫して活用している。      |
|         | ② | 職員の配置数は適切である                                                                               | 14 | 4   | ・生活面では必要な人数である。<br>・職員は多いが、連携ができていない。                                |
|         | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている             | 8  | 10  | ・できる限りの構造化は図っているが、もう少し動線や環境を整えられると良い。                                |
|         | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                         | 5  | 14  | ・建物が古いが、トイレは清潔にたもたれている。<br>・手洗い、トイレの動線が悪い。そのため、余計に職員の手が必要となる。        |
| 業務改善    | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                | 12 | 4   | ・個々に努力しているのは分かるが、職場の仕組みとして、明確に示した方が良い。                               |
|         | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                              | 13 | 0   | ・評価表以外に個人面談の実施などにより、保護者からの意向を改善につなげている。                              |
|         | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8  | 0   | ・本アンケートを実施。<br>・管理職が行っていると思う。<br>・公開しているか不明。                         |
|         | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                             | 9  | 2   | ・外部評価を聞いたり、見たことがない。                                                  |
|         | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                | 11 | 5   | ・研修の機会はパートタイム職員も含め、広く開かれている。<br>・時間がなく、なかなか受講できない。<br>研修の機会を増やしてほしい。 |
|         | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                     | 16 | 0   | ・年2回保護者との面談を通じて、要望や意見を聞き、支援に反映している。                                  |

適切な支援の提供

|   |                                                                                                                              |    |   |                                                                                                                                                                |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                     | 9  | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しているかどうか不明である。</li> <li>・事業所独自の物を使用していると思う。</li> </ul>                                                               |
| ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7  | 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定されていると思われる。</li> <li>・地域支援の項目がない。</li> </ul>                                                                         |
| ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | 15 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス単位のケース会がないため、職員間の共通理解が難しい。</li> <li>・振り返りや課題など明確にしている。</li> </ul>                                                   |
| ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | 14 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルタイムの職員はできているが、パートタイム職員を含めるとなると難しい。</li> <li>・クラスミーティングで行っている。</li> <li>・リーダーが誰だか分からない。職員がもう少しパートに指示してほしい。</li> </ul> |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | 14 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいプログラムをしていることはない。</li> <li>・毎日相談し工夫している。</li> <li>・意図的に固定することはない。</li> </ul>                                         |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                                                                 | 14 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動、課題に取り組むなどの機会が少ない。</li> <li>・子どもの状況や、相性で分けるなど、工夫している。</li> </ul>                                                   |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                                               | 16 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・できているときと、できていないときがある。</li> <li>・口頭での確認の他、紙面でも確認できるようにしている。</li> <li>・バス添乗があるため、パートタイム職員は、朝の打合せは短めである。</li> </ul>       |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                                          | 17 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの時間が短い。</li> <li>・振り返りを深めるための、ミーティングの時間を設定した方がよい。</li> </ul>                                                       |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                                         | 16 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員で共有し、次につなげるよう心がけている。</li> </ul>                                                                                    |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                                        | 13 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスを行っている。</li> </ul>                                                                                              |
| ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                                            | 6  | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不十分である。</li> <li>・必要があれば、行っている。</li> </ul>                                                                             |
| ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                                        | 12 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行っていると思われる。</li> <li>・言語相談訓練につながる場合もあり、療育につながる場合もある。</li> </ul>                                                        |

|          |   |                                                                                                      |    |   |                                                                      |
|----------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------|
|          | ⑳ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                          | 8  | 1 | ・医療的ケア児が現状いない。                                                       |
|          | ㉑ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                      | 9  | 0 | ・医療的ケア児が現状いない。                                                       |
|          | ㉒ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                        | 11 | 0 | ・必要時に書類を作成したり、移行先に出向いて共有している。<br>・情報共有はしていると思います。<br>・不十分である。        |
|          | ㉓ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                    | 11 | 0 | ・図っていると思われる。<br>・書類の作成や引継ぎを移行先の職員に来所してもらい、行っている。                     |
|          | ㉔ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                             | 5  | 5 | ・機会があればもっとできると良いと感じている。                                              |
|          | ㉕ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                                              | 10 | 6 | ・コロナウイルス感染症拡大でできていない。<br>・今年度はコロナウイルス感染症のため実施できていないが、保育園との交流がある。     |
|          | ㉖ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                              | 4  | 2 | ・現場職員は参加していない。するようにしたい。                                              |
|          | ㉗ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                       | 16 | 0 | ・ノート、電話、面談等設定して行っている。                                                |
|          | ㉘ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                                           | 8  | 2 | ・専門職による、保護者向けの講演会を実施している。<br>・ペアレントトレーニングとまでは言えないが、努力し、アクションを起こしている。 |
| 保護者への説明責 | ㉙ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | 10 | 0 | ・現場職員は立ち合っていないので、分かりません。                                             |
|          | ㉚ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容に説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 11 | 1 | ・面談を行い、実施している。                                                       |
|          | ㉛ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                        | 16 | 1 | ・電話や面談などを設けて、話をうかがい、できる限り助言や提案はしている。                                 |

|         |    |                                                                            |    |   |                                                                      |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------|
| 任等      | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                               | 15 | 0 | ・今年度はコロナウイルス感染症のため、あまりできなかった。                                        |
|         | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 15 | 0 | ・リーダーの先生方がやっている。                                                     |
|         | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                          | 14 | 0 | ・園だよりを毎月発行している。                                                      |
|         | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                          | 16 | 1 | ・個人情報の持ち出しを禁止している。<br>・写真の管理等、注意している。                                |
|         | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                        | 17 | 0 |                                                                      |
|         | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                         | 10 | 1 | ・センターまつりや講座を開催しているが、今年度はコロナウイルス感染症のため実施できなかった。                       |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 16 | 1 | ・マニュアルはあるが、訓練が徹底されていないものもある。                                         |
|         | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | 13 | 3 | ・訓練は実施しているが、頻度が少ない。                                                  |
|         | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                          | 18 | 0 | ・書面に記入してもらっている。<br>・面談時に確認している。                                      |
|         | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 17 | 0 | ・もう少し細かいアレルギーマニュアルを作成した方が良い。                                         |
|         | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | 19 | 0 | ・センター内に委員会があり、情報を共有している。<br>・毎月、共有している。<br>・パートタイム職員も含め共有している。       |
|         | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | 9  | 5 | ・スーパーバイズ等、外からの視点がある。<br>・資料は配布されるが、研修に参加したことはない。<br>・定期的な研修が必要だと感じる。 |
|         | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5  | 4 | ・計画に記載があるか分らない。<br>・尊厳を大事にしている。<br>・理解している人もいるが、支援者の中には、基準が分らない人もいる。 |

※回答未記入、不明についてはカウントされていません